



# JAPAN ICHINOMIYA JUNIOR 社団法人一宮青年会議所

URL <http://www.ichinomiya-jc.or.jp/>

2005年度スローガン  
『笑顔あふれる地域 新・一宮』

1 2005年  
月号

新年明けましておめでとうございます。

## 2005年度 社団法人一宮青年会議所 理事長挨拶



第52代理事長  
山田 一仁

2005年度  
(社)一宮青年会議所スローガン

『笑顔あふれる地域  
新・一宮』

新年、明けましておめでとうございます。

日頃、社団法人一宮青年会議所の活動及び会員へ深いご理解と温かいご協力を頂戴しております事、心より御礼を申し上げます。この平成17年、この地域におきましては、4月1日に一宮市・尾西市・木曾川町による2市一町の市町村合併、この愛知県としては2月の中部新国際空港「セントレア」の開港、3月25日には、我々が尊敬してやまない先輩諸兄が1988年以降17年間、国際博覧会の開催趣

旨と青年会議所の理念の一致から、一貫して開催賛成の姿勢で携わってこられました通称「愛・地球博」日本国際博覧会の開催と、数多くのビッグプロジェクトが華々しく展開される素晴らしい年です。

このような素晴らしく重要な年に、この歴史と伝統ある社団法人一宮青年会議所の理事長を仰せつかり、この上なく光栄に思う事はもちろんの事、責任の重さを痛感いたしております。

本年創立54年目の社団法人一宮青年会議所は『笑顔あふれる地域(まち) 新・一宮!!』をスローガンに当青年会議所2000年代運動指針を確りと検証しつつ「明るい豊かな社会の実現」を目指します。そして本年は「ありがとうの実践」を通して、思いやりの心を大切に、優しくそして強い組織づくりを行いつつ、我々全会員が地域において良きリーダーとなるべく修練し、その目的達成に向けて全会員一丸となって邁進する所存でございます。

これまで同様、社団法人一宮青年会議所の活動及び会員にご理解ご協力又、ご指導ご鞭撻頂きます様を心からお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

どうか宜しく願い申し上げます。

## 2005年度 社団法人一宮青年会議所 理事会構成メンバー 紹介



### ■ 監 事

杉山 義幸

新年明けましておめでとうございます。様々なボランティア団体が活躍する現在、我々青年会議所も他の団体とは一味違ったJC流まちづくりを展開していく必要があります。

本年もバイタリティあふれる山田理事長を筆頭とし、約100名のJC侍が行政合併により誕生する新「一宮市」を活性化すべく活動に邁進して参ります。

皆様のご指導、ご支援、ご協力宜しくお願い申し上げます。



### ■ 監 事

速水 宏幸

一宮市・尾西市・木曾川町の合併を迎える年に、伝統ある社団法人一宮青年会議所の監事を拝命し、身の引き締まる思いでございます。

2005年度は山田理事長のもと、全メンバーが一丸となって新「一宮市」としての地域の特色つまりグランドデザインを創造し、市民主体の社会システムを確立していかなければなりません。この地域の代表的なお祭りであるおりもの感謝祭一宮七夕まつりも今年度で50回という節目の年を迎えます。この地域が光り輝きこの地域にずっと住んでいたいと思える地域にするため青年会議所活動に邁進して参りたいと思います。

皆様のご指導、ご支援、ご協力宜しくお願い申し上げます。



### ■ 監 事

水谷 英一郎

新年明けましておめでとうございます。本年は新「一宮市」の誕生です。我々 青年会議所は昨年来、市町村合併に先立ちまして旧(社)尾西青年会議所と統合し、活動して参りました。本年も、より「明るい豊かな社会の実現」を目指して活動して参りますので皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



■ 副理事長兼専務理事

井上 文男

新年、明けましておめでとうございます。

2005年度スローガン「笑顔あふれる地域 新一宮」を掲げ、山田一仁理事長のもと、副理事長兼専務理事を「ちょっと無理して」努めさせていただき所存です。本年は「ありがとうの実践」を徹底的に行い、(社)一宮青年会議所が「一枚岩の組織」になれるように皆様と一緒に活動していきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をお願いします。



■ 総務室担当副理事長

清水 敬介

新年明けましておめでとうございます。

2005年度 社団法人 一宮青年会議所 山田一仁理事長のもと、総務室担当副理事長という大役を仰せつかり非常に身の引き締まる思いです。

本年度は、理事長所信にもありますようにより強固な一枚岩の組織を目指して精一杯活動してまいりますので、どうぞ皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。



■ 会員交流室担当副理事長

加納 秀規

2005年度山田理事長のもと会員交流室担当副理事長を務めさせていただき事になり、大変身の引き締まる思いです。(社)一宮青年会議所と(社)尾西青年会議所が合併してまだ間もない中この大役を受けたのは山田理事長のJCへの熱い想いと自ら卒業までに多くの方と仲間になれればという気持ちからです。2005年度は山田理事長の言うJCの「わ」を大切にしながらメンバーがより多く参加していただける新たな会員交流のあり方を室長、委員長、委員会メンバーとともに模索していきたいと思っております。

正直、わからない事ばかりですが、一宮の伝統を守りながら、尾西で培ったいままでの経験を生かし望んでいく所存でございますので皆様方には一層のご指導・ご鞭撻の程よろしく申し上げます。



■ 研修室担当副理事長

吉山佐人規

新年明けましておめでとうございます。

2005年度社団法人一宮青年会議所山田一仁理事長のもと、研修室担当副理事長として諸先輩が築かれた輝かしい歴史と伝統を継承し、地域・会社のリーダーとして情熱を持って行動できる「ひとづくり」に努めさせていただき所存でございます。何卒、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



■ 社会開発室担当副理事長

栃倉 勲

新年明けましておめでとうございます。

第52代山田一仁理事長の下、副理事長を仰せつかり、身に余る光栄であると同時に、大役に身の引き締まる思いでございます。私が担当します社会開発室の「青少年育成委員会」では、青少年育成を通じ地域と青少年との共育を、「社会システム創造委員会」では、本年の市町村合併を念頭に新しい一宮市の市民参加型の社会システムを創造していきます。市町村合併・国際博覧会「愛・地球博」開催に沸く地域社会の中で、若き情熱を持ったJAYCEEとして室をあげ事業を展開していく所存であります。つきましては、皆様方のご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



■ 総務室長

佐々 憲一

新年あけましておめでとうございます。

2005年度総務室長を仰せつかりました佐々憲一です。本年度、山田理事長のもと、一枚岩の社団法人一宮青年会議所になるべく、総務室としてできることを土川委員長をはじめとする委員会メンバーと共に精一杯取り組ん 参る所存ですので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



■ 会員交流室長

野村 一詞

2005年度、会員交流室長を拝命しました野村一詞です。今年度、室長制があるということで、経験したことのないことですが、いろいろ勉強して、いい形を残し、これからも続けていけるようにしたいと思います。また、理事長所信にもありますが、一宮青年会議所が「真の友情」があり、組織が「一枚岩の組織」となることを目指し、会員交流委員長と共にがんばります。



■ 研修室長

中島 幸司

2005年度、研修室長という大役を仰せつかり、大変身の引き締まる思いであります。  
歴史と伝統ある社団法人一宮青年会議所の一員であるということを誇りに思うと同時に、責任と自覚を深く胸に刻み込み、常に夢を抱きながら活動して参りたいと思っております。  
どうか皆様、一年間宜しく願いいたします。



■ 社会開発室長

内藤 幹夫

新年明けましておめでとうございます。  
本年度社会開発室長を仰せつかりました内藤幹夫です。社会開発室は、社会システム創造委員会と青少年育成委員会の2委員会を担当させていただきます。本年は、新「一宮市」が誕生する記念すべき年となります。子供からお年寄りまでの全市民の皆様へ気持ちの面においても一つとなれるよう地域の方々と共に精一杯取り組んでいく所存でございます。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



■ 事務局長

平松 正充

明けましておめでとございます。  
2005年事務局長を仰せつかりました平松です。社団法人 一宮青年会議所 山田一仁理事長のもと「ありがとうの実践」を踏まえまして一年間勉強をさせていただきます。又、先輩方より受け継がれて参りました伝統を重んじて事務局運営を遂行致したいと思っておりますので、勝手ではございますが、皆様ご叱正とお導きの程宜しく願い申し上げます。



■ 渉外委員会委員長

池戸 英嗣

2005年度渉外委員長をつとめさせていただきます池戸英嗣です。  
2005年度渉外委員会では、「ココロドル」を委員会のスローガンとし、他LOMとの渉外活動、各種事業・大会・会議への積極的な参加、出向者支援を通じて一枚岩の組織づくりを実践していきます。2005年度渉外委員会は行動あるのみと考えております。これから1年間、LOMメンバーの皆様が「ココロドル」よう、精一杯渉外活動を努めさせていただきますと思います。どうぞ、宜しくお願いします。



■ 総務・広報委員会委員長

土川 正夫

新年明けましておめでとうございます。  
総務・広報委員長を仰せつかりました土川正夫です。前年度事務局長の経験を少しでも活かし、伝統ある社団法人一宮青年会議所の総務及び広報の活動に責任をもち、かつ明るく前向きに委員会メンバー全員で取り組んでいく所存です。何卒皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



■ 会員交流委員会委員長

岩満 満

新年あけましておめでとうございます。  
会員交流委員会の委員長をつとめさせていただきます岩満誠ですどうか一年よろしくおねがいします。われわれ会員交流委員会の一年間の行動は、理事長所信にある「一枚岩の組織」創りを目指して主に行動していきます。今年一年みなさんと委員会、事業、例会、総会そして理事会と同じ仲間として楽しくやっていきたいと思っております。どうぞよろしくおねがいします。



■ 人間力アカデミー委員会委員長

脇田 吉高

新年明けましておめでとうございます。  
2005年度 人間力アカデミー委員会委員長を仰せつかりました脇田吉高です。私ども委員会では、伝統ある社団法人一宮青年会議所のメンバーとして恥じる事のない予定者の育成と、「こころ」をテーマとした会員の創造に努めます。何卒皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



### ■ 経営開発委員会委員長

五藤 盛郎

2005年度経営開発委員会の委員長という大役を務めさせていただきます五藤盛郎です。

「世のため・人のため・あなたのため」を題材にして、LOMメンバーはもちろん地域の方々にも必ず何かを持ち帰って頂き、経営の質の向上を図って頂けるよう努力します。

まだJC歴も浅く、若輩の身でありますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



### ■ 社会システム創造委員会委員長

中西 啓太

新年あけましておめでとうございます。本年度、社会システム創造委員会委員長を仰せつかりました中西啓太です。

今年は新一宮市の誕生と、七夕まつり50周年という記念すべき年に委員長の大役を賜り、身の引き締まる思いと、わくわくする気持ちでいっぱいです。市民の皆様と一緒に、腹の底から湧き上がるような「元気の源」を創造して、気持ちが共鳴できるような事業を展開していきます。どうかご支援ご協力の程お願い申し上げます。



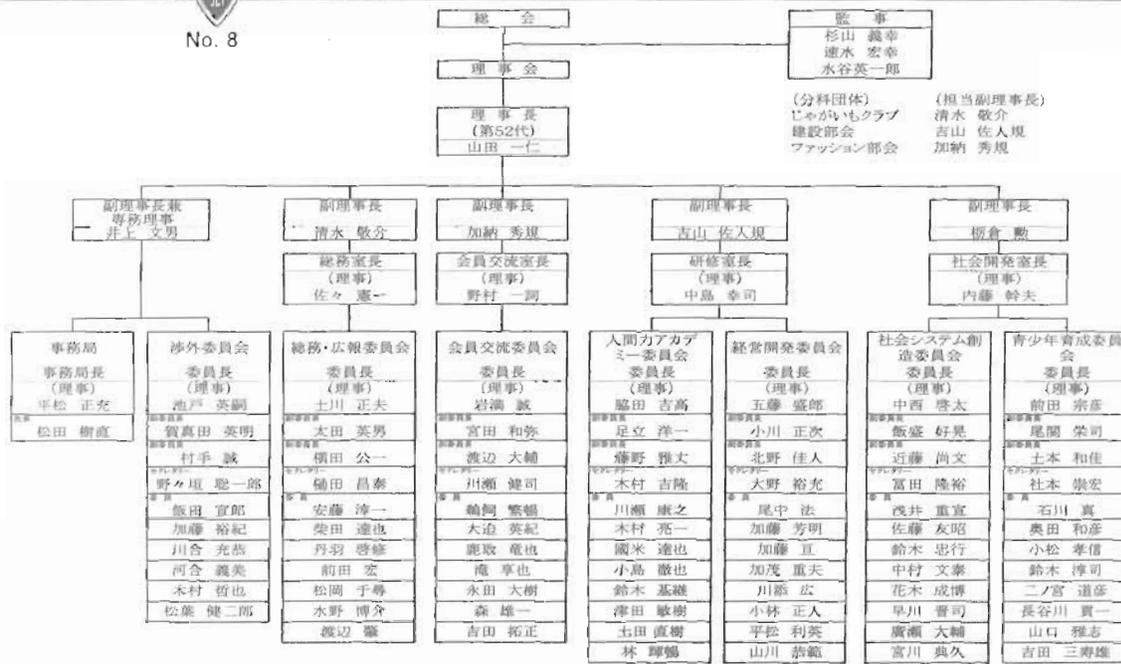
### ■ 青少年育成委員会委員長

前田 宗彦

明けましておめでとうございます。本年は、2市1町が合併し新・一宮市となる記録に残る年です。この記念すべき年に伝統ある(社)一宮青年会議所の理事をさせて頂くことに、大きな責任を感じます。地域の皆様をはじめ、先輩方のご意見を拝聴しながら一步一步着実に歩いていきたいと思っております。ご指導をよろしくお願い致します。



## 2005年度 社団法人一宮青年会議所 組織図



社団法人一宮青年会議所 2005年度JCだより

2005年 vol.1 1月発行

この「JCだより」の内容は下記のホームページでもご覧になれます。  
ご意見・ご希望は、下記のメールアドレスへお寄せ下さい。

- ▶ ホームページアドレス <http://www.ichinomiya-jc.or.jp>  
(検索サイトから一宮青年会議所と検索下さい)
- ▶ メールアドレス [jc008@ichinomiya-jc.or.jp](mailto:jc008@ichinomiya-jc.or.jp)

青年会議所では一緒に活動するメンバーも随時募集しております。  
興味のおありの方は、青年会議所まで、お気軽にご連絡ください。

■ 社団法人一宮青年会議所 一宮市栄4-2-1 TEL 0586-24-1120 FAX 0586-24-1138

発行委員会2005年度総務・広報委員会



# 社団法人一宮青年会議所

## ICHINOMIYA JUNIOR CHAMBER INC.

### 2005年度スローガン 『笑顔あふれる地域 新・一宮』

# 2005年 9月号

#### 2006年度 社団法人一宮青年会議所 理事長予定者挨拶

2006年度  
第53代理事長予定者

**吉山 佐人規**



『誰もが憧れて入会したいと思う  
社団法人一宮青年会議所になることを夢に』

「過去と他人は変えることが出来ない」とよく言われます。しかし、我々青年会議所メンバーは明るい豊かな社会を目指し行動しています。他人を変えることが出来ないのにならや

地域を変えることができるのでしょうか。まずは他人を変えようと思う前に自分自身が周りからあこがれる人になることが大切ではないでしょうか。地域の人から「一宮青年会議所のメンバーってカッコいいね」と言って頂けるような団体であり、そんなカッコいい人達が集まった団体が行う事業であれば、きっと多くの人に共感して頂け、素晴らしい地域になって行くことと信じております。

メンバーのところがひとつになり地域から信頼され誰もが憧れて入会したいと思う社団法人一宮青年会議所になることを夢に皆様と共に取り組んで行きたいと思っております。

どうか皆様方の暖かく絶大な御力をお借り出来ますことを節にお願ひ申し上げご挨拶とさせていただきます。2006年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

“心に想い描ける事は実現可能なことばかり”

#### 2006年度 社団法人一宮青年会議所 監事・副理事長予定者



監事  
土田 直樹



監事  
井上 文男



監事  
板倉 勲



副理事長兼  
専務理事  
清水 敬介



副理事長  
佐々 憲一



副理事長  
二ノ宮 道彦



副理事長  
中島 幸司



副理事長  
速水 宏幸

#### 2005年度 4月度例会 忘れられたものを再認識する

4月度例会にご参加頂き誠にありがとうございました。

経営座談会と題しまして委員会手作りの内容であったため皆様には表現しにくい項目もあったかとは思いますが、日頃信頼のおけるメンバー同士、活発な討論ができたと思います。経営開発委員会の基本方針にもあります「世のため・人のため・あなたのため」ということを、自然に意識できるようになったとき、また一歩理想の会社経営の実現に近づくのではないのでしょうか。そして会社が繁栄し、社会へ貢献できる。また、それが社員のやる気・向上心へ繋がります。

業種の違いや会社の規模等も、皆様違いますが会社経営に関する基本的な環を大切に、この4月度例会では「企業にまず、人ありき」を、今一度考えて頂きました。

経営開発の事業は、4月度例会で完結ではありません。より一層LOMメンバーの皆様が地域社会の手本となり、11月の公開例会へ繋がるものと考えます。これから委員会メンバー、一枚岩になり、また11月の公開例会に向けて勉強してまいりますので、皆様におかれましても、思い描き、言葉にして頂いたことを、忘れずに常に心がけて日々の会社経営に役立てて頂きたいと思っております。ありがとうございました。

経営開発委員会 委員長 五藤盛郎



## 2005年度 5月度出張例会 「みんなで走ろう耐久レース」

5月14日(土)お互いを思いあえる真の友情創りをする目的の下、出張例会を開催致しました。今年は(社)一宮青年会議所と姉妹交流を交わしている大韓民国(社)大邱江北(テグカン)青年会議所のメンバーの皆様も参加していただきました。

第1部は、三重県桑名市のレインボースポーツカートコースにて、室対抗で3時間耐久カートレースを行いました。このレースは、ドライバーは5周ごとに交替し、ピットクルーとしてタイムキーパー、ドライバーへのピットサイン、マシンがコースアウトした際の手助け、実況中継のための記録伝達係など役割分担を決めましたが、ドライバー交替のためマシンがピットに入った際、いかに素早くピットアウト出来るかが勝敗の明暗を分けました。従って、チームワークが伴っていない限り、上位を目指すことは出来ませんでした。

第2部は、メンバー同士が言葉を越え、懇親を深めるため、グリーンホテルにて開催致しました。第1部でのレースの話に花が咲き、お互いの友情がより強固なものになり、一枚岩の組織に近づけたと確信致します。  
会員交流委員会 副委員長 宮田和弥

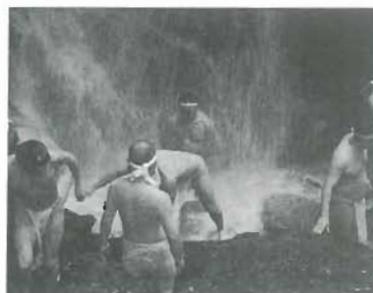


## 2005年度 6月度例会 「こころの蘇生を求めて・・・輝けJC侍！」

人間力アカデミー委員会では、メンバーの皆様に見(みそぎ)体験・滝行体験を通して“こころ熱きJC侍”になって頂く様、6月度例会を開催しました。11時の集合時間に合わせ滋賀県甲賀郡信楽町の日雲神社に続々と集まってくるメンバー。6月度例会の開会。例会のセレモニーを終えると、一旦社務所にて昼食。早朝より委員会メンバー総出で作り上げたおにぎりや味噌汁をメンバーに。腹が減っては戦ができません、とばかりに3つ4つとおにぎりをほおばるメンバーの姿も。そしてまずは、清めのお祓いをうけ、理事長が玉串を奉納。

ここから一般参加の方も加わって、禊体験での掛け声や所作、作法を学んだ後、ふんどし一丁に着替えて境内の禊場へ。教わった通りに山に向かい腹のそこから大声を押し出し、冷たい水に一瞬たじろぎながらも、一心に禊の詞を唱えるメンバーの姿がそこにありました。その後、車に分乗し、いよいよ滝行体験です。高さ6m、幅5mの鶏鳴の滝では、境内同様、禊の掛け声と所作を行い、滝壺へと続く急峻な坂を降りていく。ここでも音を立てて流れ落ちる水に負けぬよう気をいれて滝行を行うメンバーの姿がありました。社務所に戻った後、本日の体験を各自一枚の色紙に表現していただきました。明日以降、それを見る度に今日のこの気持ちを思い出して頂けることと考えます。

激動、混沌の時代といわれるなか、日本人としてのアイデンティティー確立の根本といわれる「神道の世界」を体験することにより、個々の精神(こころ)を研ぎ澄まし、鍛え、高めて頂き、新たな自分の発見とこころの蘇生を計って頂けた事と思います。また、同じ体験をメンバー全員で行ったことにより、今後、喜怒哀楽をこころの底から共に分かち合えるようなのもしい一枚岩の組織が創造されていくことと考えます。  
人間力アカデミー委員会 委員長 脇田吉高



## 2005年度 7月度公開例会 やらうぜSTOMP「新・一宮市のオリジナルサウンド」七夕まつりに音を出せ!

7月31日(日)一宮七夕まつり会場にて7月度公開例会を開催させていただきました。新一宮市のSOUL(魂)である七夕まつり50周年に、一宮青年会議所メンバーと200名ほどの市民の皆様で出来上がったSTOMP軍団が、まつり会場を練り歩き、迫力あるオリジナルサウンドを奏でました。

STOMP軍団が盛り上げてきたフィナーレとなる駅前ステージでは、近藤教授(一宮女子短期大学)率いるDOSのご協力で出来上がった小学生チームによるボディーパーカッションに始まり、神戸美香先生率いるFree WorldのごスベルSTOMP、土井一恭先生率いるプロチームのTAP&STOMPが披露されました。TAP&STOMPとSTOMP軍団に飛び入り参加の観客も加わりオリジナルサウンドのコラボレーションで盛り上がりました。

「元気の源」である「新・一宮市のオリジナルサウンド」は、簡単で誰にでも出来る「STOMP」といった表現方法を用いて、七夕まつりをより一層盛り上げ「沢山の個性」が「元気の源」を織りなすことによりできる、市民主体の社会システムが創造できたと確信しています。総勢約300名お集まりいただきましたことへの感謝と、迫力あるサウンドへの感動を胸に抱き、沢山のご協力を頂きまして本当に有難うございました。

社会システム創造委員会 委員長 中西啓太



### 4月25日(月)愛知建設クラブ総会

本年度、日本青年会議所建設部会愛知建設クラブの総会が名古屋市中区の栄マルベリーホテルにて開催されました。

本年度は(社)一宮青年会議所から吉山副理事長を愛知建設クラブの会長として輩出させていただき、日本青年会議所建設部会部長岡本弘之君をはじめ県内から大勢の会員の皆様にお集まりいただきました。また全ての議案につきまして承認いただき、盛会のうちに終了することができましたのでご報告致します。

(報告：室長 佐々憲一)



### 5月22日(日)第1回 ひびけ!ぼくたちのおと!

8月の公開例会を最終目標に、青少年育成委員会設営の子供たちを集めて全8回開催される“ひびけ!ぼくたちのおと!”の1回目が一宮スポーツ文化センターにて開催されました。ポディーパーカーションを題材に子供たちとともに初めての練習会を行いました。熱心に練習する子供たちの姿を見て、充実した事業が8月まで実施出来ると確信しました。またたくさんの参加者のご父兄の皆様も最後まで見学頂きました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。ありがとうございます。

(報告：委員長 土川正夫)



### 5月24日(火)J6JC合同じゃがいも ゴルフコンペ

5月24日(火)ナガシママカントリークラブにて、社団法人稲沢青年会議所の主催による西尾強J6JC合同じゃがいもゴルフコンペが、爽やかな青空のもと、盛大に開催されました。当日は多数のメンバーと歴代理事長を中心とした先輩方が参加され、大変な盛り上がりを見せました。

今回の団体戦では稲沢青年会議所が昨年につづいて優勝し、当一宮青年会議所は、残念ながら3位という結果に終わりました。しかしながらゴルフを通して、更なる交流を深めることができ大変有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

(報告：室長 佐々憲一)



### 5月26日(木)とうかい号オリエンテーション

6月4日から11日まで日本青年会議所東海地区協議会の事業として研修船の“とうかい号”が伊勢湾へ向けて出発します。

この日はファッショントレジャーセンターにて一宮青年会議所が募集して、とうかい号へ送り出す際WWS清水尊幸さん・鈴木自動車検渡邊ひとみさん・柳平安岡山田裕史さんへ向けて乗船経験者である第49代理事長の鈴木洋志先輩、速水宏幸監事に乗船体験をご講演頂きました。

今回のとうかい号の研修が乗船者のみなさまにとって表裏の多いものであることを願っております。

(報告：委員 渡辺 肇)



### 5月27日(金)到着～29日(日)ASPACお見送り

5月27日(金)午前8時、中部国際空港(セントレア)にひとりまたひとり集合する(社)一宮青年会議所メンバー。マカオで開催される第55回JCI-ASPACマカオ大会に一宮青年会議所から参加する柳田理事長、吉川副理事長、そしてWWSのあいも運営特別会議長土田特別議長を見送りました。

ASPACマカオ大会では、アジア各地の青年会議所メンバーが一同に集り交流を深めます。日本を紹介するジャパンブラスや次年度ASPAC開催地である高雄JCIの紹介も行われます。

(報告：副委員長 太田英男)



### 7月1日(金)アカデミー委員会 初顔合わせ

7月1日(月)愛知県一宮勤労福祉会館にて2005年度下期会員予定者として一宮青年会議所は5人の予定者を新しい仲間として迎えることになりました。

予定者の皆さんの青年会議所活動を通しての新たな経験が出来ることや、多くの友人ができることを願っております。  
(報告：委員長 土川正夫)

#### 2005下期正会員予定者(5名)

- 小川 勝之君 (クレディ・スイス生命保険株式会社)
- 川合 克典君 (有限会社リバーテック)
- 坂倉 慶信君 (コーワ精工販売)
- 杉島 洋則君 (アリコジャパン)
- 鈴木 強司君 (いちば食品)



### 7月14日(木)~19日(火) ありがとうの実践 愛・地球博参画事業

日の出と共に眩しいばかりの陽が大地に降りそそぎ、汗ばむ肌に気温の上昇が感じられる暑い一日が始まりました。(社)日本青年会議所の愛・地球博参画事業として、長久手会場「モリゾー・キッコロメッセ」に於いて『~つたえよう日本のこころ~』と題し、日本各地の文化や伝統を紹介する事業が開催されました。

当LOMも7月14~19日の日程で【~短冊にありがとうの想いをこめて~】と題したブースを出店し、縁日を思わせるような空間には連日大勢の方々が訪れました。紙や布で用意した色とりどりの短冊には思い思いの願いが添えられ、ブース内は瞬く間に七タムード一色となりました。老若男女問わず“健康”の文字を書かれる方が多く目に付きました。心身の健康とそれぞれの熱い想いをお預りし、28日から始まる「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」へ華やかに飾らせて頂きます。【愛】に満ち溢れた人間のこころ、日本のこころにふれ合えた素敵な時間(とき)でした。

(報告：委員 柴田達也)



### 7月22日(金) 2005年度日本JCファッション部会7月例会

日本青年会議所のファッション部会との合同例会が一宮の地で行われました。本年度は当LOMより渡辺大輔君が常任委員として出向しています。

当日は、艶金興業株式会社の墨社長のご厚意により、工場見学と講演会を行って頂きました。その後会場をマリOTTアソシアホテルに移して懇親会が行われ、全国各地から集まったメンバーと交流を深めました。

(報告：室長 佐々憲一)



## 社団法人一宮青年会議所 2005年度JCだより 2005年9月発行

この「JCだより」の内容は下記のホームページでもご覧になれます。  
ご意見・ご希望は、下記のメールアドレスへお寄せ下さい。

- ▶ ホームページアドレス <http://www.ichinomiya-jc.or.jp>  
(検索サイトから一宮青年会議所と検索下さい)
- ▶ メールアドレス [jc008@ichinomiya-jc.or.jp](mailto:jc008@ichinomiya-jc.or.jp)

青年会議所では一緒に活動するメンバーも随時募集しております。  
興味のおありの方は、青年会議所まで、お気軽にご連絡ください。

■ 社団法人一宮青年会議所 一宮市栄4-2-1 TEL 0586-24-1120 FAX 0586-24-1138

発行委員会2005年度総務・広報委員会

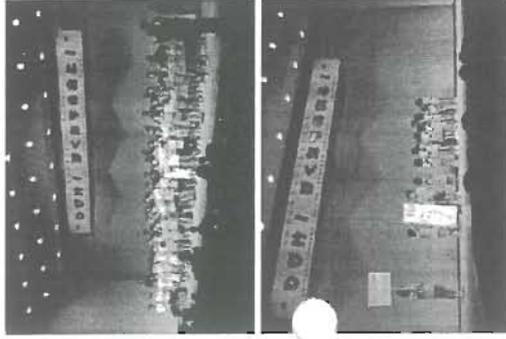


2005年 一宮JCスローガン  
笑顔あふれる地域 新一宮

社団法人一宮青年会議所  
JCTだより 2005年11月号  
http://ichinomiya-jc.or.jp/

大盛況の中8月公開例会「ひびけほくたちのおと！」を開催しました

本日の11月公開例会に  
参加して頂いております。



8月7日(日)、一宮市民会館大ホールにて、8月度公開例会「あつまれ いちのみやっ子 ひびけ！ほくたちのおと！」を開催いたしました。5月からの練習の成果を発表するため、前日のリハーサルに続き当日は朝から最後のリハーサル。子供たちの表情は真剣です。いよいよ本番。舞台袖で待機する子供達の様子を見て、チームを指導してきたスタッフは練習時にあった数々のドラマが頭をよぎり目頭が熱くなります。同時に、スタッフ全員が大きな不安と少しの期待を持って本番を待ったことでしょうか。本番を迎え舞台上で発表していた子供も、そしてけんかばかりでした子供も、一つにまとまることがなかったチームも、また一人だけ孤立していた子供も、そして無事発表を終えた子供達の堂々とした姿と満足げな表情に、惜しみない拍手を送ることができました。各自が意見を出し合いながら、最終的には「わ」を大切に、皆で一つのことをやり遂げた喜びは達成感として子供達の心に残ったことと思います。

「ひびけ！ほくたちのおと！」という名称を付け、誰にでも手軽にできるボドイパーカーアクションを手法として取り入れ、またボドイパーカーアクションに寸劇を取り入れるという初めての試みでしたが、これは皆がまとまってこそすばらしいものがあがるのではないのでしょうか。

この度、「皆でまとまる」ということの重要性について、子供達を始めとして保護者の皆様もそして私達メンバーも感じる事ができたと考えます。この事業に参加した子供達からは「友だちが増えた。」という声や「思い出ができた。」という声も届いており、また事業終了後に保護者の方から「また、やって欲しい。」という意見も数多く頂きました。きっと、子供達は何かを感じとったのではないかと考えています。そして、その感じ取ったものを将来のために大いに役立てて欲しいと願います。この度、多数の方々に絶大なご理解・ご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。ありがとうございます

(報告 青少年育成委員会 委員長 前田宗彦)

2005年度第2回臨時総会を開催しました。2006年度の役員が承認されました。



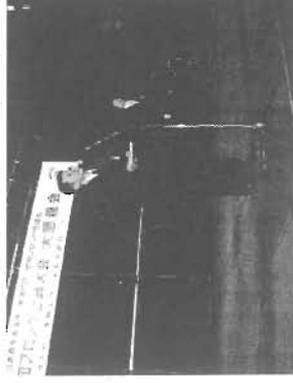
第2回の臨時総会が、一宮スポーツ文化センター3階小ホールにて開催されました。本総会では、第1号議案 青少年育成委員会 事業計画2の変更(取り消し)に関する件 第2号議案 青少年育成委員会 事業計画3の変更に関する件 第3号議案 2006年度(社)一宮青年会議所 理事及び監事の選任の件 が皆様の慎重審議を経て可決いたしました。

特に次年度一宮青年会議所の役員がこの日正式に承認され、2006年度一宮青年会議所への活動がこの日正式にスタートしました。来年も今年同様充実したJC活動が展開されるものと確信しております。

(報告:総務・広報委員会 委員 安藤)

(写真:一宮スポーツ文化センターにて 承認を受ける次年度役員)

夏海市にて開催されました愛知ブロック会員大会に参加しました。



9月4日東海市において愛知ブロック(協)の会員大会が開催されました。午前中の各委員会では、この一年間の集大成が発表されました。午後からは紺野美沙子さんの講演、その後記念式典と滞りなく開催され、夜は大懇親会が開催されました。(社)一宮青年会議所歴代理事長でブロック長経験者でもある則川伸也先輩も大懇親会に参加され、次年度理事長の紹介、本年度卒業予定者の卒業式と非常に有意義なひと時を過ごさせて頂きました。また愛知ブロック出向者のみなさまにおかれましては、この一年間本当にお疲れ様でした。この経験を今後LOMIに還元して頂けると考えます。後日、第9回理事会の際、山田理事長の挨拶の中で「吉田拓正前年度会員大会委員長も卒業生と言う立場で本年度会員大会の運営を心配しながらも非常に暖かい目でごらんになっていた。」というお言葉もありましたのでJCだより上で紹介させて頂きます。

(報告:総務広報委員会 副委員長 太田)

(写真:懇親会で次年度の抱負を話す吉山次年度理事長)

美濃白川クオーレの里にて夏の家族会を開催しました。



美濃白川クオーレの里にて夏の家族会が会員交流委員会設置のもと開かれしました。この日は「なかなか家族サービスが出来ない！」というJCメンバーも、竹ざおから羊を作って鯖を釣ったり(なかなか釣れませんが楽しんでました)飯盒炊飯やバーベキューを作ったりと、家族サービスに努めて頂き、楽しい日曜日のひと時を過ごさせて頂きました。

お子様のためにもゲーム等が準備されており、本当に充実した内容でした。また、一宮に帰ってみると大雨だったことですが、幸い天気にもかろうじて運まれ、一宮青年会議所の家族の皆様のおかげのよさを感じました。この様な楽しい会を青年会議所の家族のために設置して頂きました岩崎委員長をはじめとす、会員交流委員会のみなさまにおかれましては本当にありがとうございました。

(報告:総務・広報委員会 委員長 土川)

(写真:美濃白川クオーレの里にて釣竿作成の風景)



### パンチ佐藤先生を講師に招き 西尾張6JC合同例会を開催しました(ヒルトン名古屋扇の間)



「夢への挑戦」と聞いて、みなさんはどのような講演を想像されますか？

去る9月7日の水曜日、まだまだ夏の暑さを残した夕刻より、パンチ佐藤氏を講師にお招きして、西尾張6JCの合同例会を開催されました。

パンチ氏は「ヒルトン名古屋で講演ができるなんて！」と庶民派感覚を押し出して笑っていましたが、その堂々とした話しぶり、動作の大きなボディランゲージは、これまでプロ野球界でも芸能界でも第一線を走り抜いてきた自信と貫禄を感じました。「夢への挑戦」と題した講演でしたが、パンチ氏のこれまでの経験談等を交えて、ときに情熱的に、ときにくだけた調子で、けれども決して押し付けるようなことなく、会場を異様な熱気で包みこみ、あっという間に万雷の拍手をもって終了しました。その興奮も冷めやらぬままに、小休憩を挟んで、西尾張6JCの次年度役員の紹介がありました。各JCの理事長予定者の方々は、パンチ氏に負けることのない情熱を持って溢れんばかりの想いを語りました。

この例会に出席した一人ひとりの表情からは、次年度のJC活動も、ますます実り多いものになることが想像できました。

(報告:総務・広報委員会 副委員長 横田)

(写真:パンチ佐藤先生)

### 10月度例会 「一宮青年会議所21時まで本音討論会」を開催しました(一宮商工会議所)



この度、渉外委員会は21時まで本音討論会と題して10月度例会を開催させて頂きました。この例会で皆様へ事前アンケートをお答え頂き、それを基に討論会のお題を作らせて頂きました。

例会当日は、ひとりひとりが腹を割り本音で討論し合った結果、人を思いやる気持ちを受取る気持ちが大切な事だと結論にたどり着きました最後になりましたが、10月度例会を開催するにあたり、メンバーの皆様には事前アンケートに時間を作って頂き、例会当日にはお忙しい中お越し下さったこと、ここから感謝申し上げます。

「メンバー同士が信じ合うココロを受取るココロ 心が繋がった一枚岩の組織一宮青年会議所」  
ココロオドル渉外委員会より

(文章:渉外委員会 委員長 池戸)

(写真:テーブルディスカッション風景)

### 桑原先輩・石川真君を講師に招き アカデミー委員会オリエンテーションを開催しました。



愛知県一宮勤労福祉会館にて、入会3年未満のメンバーがJCについて知るためのアカデミー委員会が主催するアカデミーオリエンテーションが開催されました。この日は現役メンバーから石川真君を講師に(社)一宮青年会議所2000年代運動指針の解説や卒業生で理事長経験者であります、桑原先輩よりJCマンのころがまやJCについてのわかりやすい体験談を講演して頂くことができました。

当日参加して頂きましたメンバーにとって青年会議所の魅力と青年会議所のメンバーとして責任感を再確認できるオリエンテーションになったものと思います。人間力アカデミー委員会の皆様お疲れ様でした。

(報告 総務・広報委員会 委員長 土川)

(写真 (社)一宮青年会議所第47代理事長 桑原先輩の講演)

### びさいまつり 大人みこし仮装パレードに2年連続参加しました。



10月23日(日)メンバー同士の真の友情創りをするという目的で、びさいまつりの大人みこし仮装パレードに参加しました。みこしや仮装衣装は多数のメンバーの協力のおかげで今までにない素晴らしい出来栄でした。また、アピールするためのダンスの練習も深夜まで行い、メンバーの心がまさに一枚岩の組織になったと確信しました。当日は集合時間には小雨が降っていましたが、メンバーの心意気が天に届いたのかパレードが始まったときにはすっかり止んでいました。パレード道中にもダンスを披露し、(社)一宮青年会議所をアピールできたと思います。また、ステージにおいても素晴らしいダンスが披露できたと思います。

結果はファミリー賞でしたが、最高のみこし、最高の仮装、最高のダンスができたので満足に満ち溢れていました。このびさいまつりに協力、参加して頂いたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

(報告:会員交流委員会 副委員長 宮田)

(写真:パレード終了後の記念写真)

発行所 (社)一宮青年会議所総務・広報委員会 一宮市栄4-2-1 TEL0586-24-1120 FAX0586-24-1138

「JCだより」の内容はホームページでもご覧になれます。(お使いのプロバイダから「一宮青年会議所」を検索)ご意見ご希望は、下記のメールアドレスへお寄せ下さい。

ホームページアドレス <http://www.ichinomiya-jc.or.jp> メールアドレス [jc008@ichinomiya-jc.or.jp](mailto:jc008@ichinomiya-jc.or.jp)

### 会員募集中

社団法人 一宮青年会議所では25歳～37歳までの青年で次代の担い手となる責任感をもち、この地域の将来を真剣に考えて頂ける会員の募集を行っております。興味のある方はまずはメールまたは電話でご説明させて頂きますので是非ご連絡下さい。